磐城新聞
三月二十七日發行
（月曜日及祭日翌日休刊）

炭鑛民俗誌 小稿

山口彌一郎

二

未だ炭鑛を主題とする古地理誌、民俗誌等に手を染められたものは少く、炭鑛誌や、石炭に關する著書の一隅に散行散見し得るに過ぎない。岡田博士等二三の先學が注意せられた跡を受けて、この方面の研究を闡明してみたいと思ふ。御教示を乞ふ次第である

〔以下括弧内算用數字は全て皇紀年數を示す〕

二、石炭に關する初期の文献

石炭が何時頃發見せられたかは何等文献の徴すべきものがなく、石炭に關する最古の記錄を以て略々其の時代を想定するのみである

元正天皇の養老四年庚申(1380)の著なる日本書紀に『天智天皇七年七月(1328)越國獻燃土與燃水』とあるがこの燃土に關しては正德三年(2372)浪迷醫士法橋寺島良安の著なる倭漢三才圖會、地六十一卷雜石類の項に次の如き記載がある。

燃土。按燃土江州栗太郡石部武佐掘山野取之土二村邊 塊黑色帶微赤以代薪亦臭 石炭者石類也 與此似而不同理似腐木而硬亦非石也越後寺蔭柿崎村之交亦有之相傳昔神代有栗太木枯倒埋地亘數十里以其處名栗太郡故有此物也然越州亦有之則恐此附會之說也日本紀云天智帝七年越後獻燃土與燃水者是矣

又大和本草批正天の卷水類石腦油の項に『越後には田地の土を取り燃せば直に燃ゆる地あり』とある等、現在の石炭と同一視するとは出來得ない樣である。岡田博士も『燃土とは泥炭と考ふる方與に近きが如し』と言はれてゐる

石炭に關する本邦最古の文献と思はれるのは筑前國續風土記で貝原益軒が元祿十六年(2363)寫本で撰定し藩公に上げたものである

よりす

霧襖うすし奥の照葉かな　（樹海）

水涸れ　矢吹長貴

水涸れのたゝ蕭條と暮れにけり

竹籔に目白啼く朝時雨

草紅葉原一ぱいの夕日影　（樹海）

雪　赤羽松堂

雪空の並木はいつか暮れにけり

萬兩の紅葉かうれし雪の庭

雪折の音になれたる山家かな　（蕉風）

潮聲硯靜抄帳

霜解　渡邊武門

霜解けぬれてうつくしき苔の青

鴨打は利根の眞菰の中

童謠 蛙の學校

島田忠夫

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
蛙の學校が、はじまつた
お池のまはりで、はじまつた

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
蛙の先生、蓮のうへ
目がねを拭いたり、外したり

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
蛙の學校にや、本がない
蕗の葉、芋の葉、讀み出した

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
蛇より、油斷がならぬのは
このごろ、田舍に、バスが來る

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
まだ〳〵、油斷がならぬのは
飛行機にや、爆彈積んでゐる

ガッコガッコ、ランラン
ガッコ、ランラン
どこかで、サイレン鳴つたので
先生が、お先に、ドンブリコ

磐城歌壇

新妻久滿男選

入學試驗　赤井嶽男

○百千の咎ものかは試驗受くる、子の苦しみをわれに替えまく

○吾子の爲みあかしを上げ神酒供へ、試驗の幸を祈る今朝はも

○覚に來し吾子の入學試驗なり、疾く起き出でて神に縋らばや

○子の費用よしや多けれひたぶるに中學入りをねぎまつるわれ　（以上四首今廿七日朝）

○しよゝ來しあすの試驗に未練なく、今宵は早く臥りたる吾子　（昨二十六日夜）

選者の都合により小評後記

郡教育部會授賞者

男女尋高自八十七名

內鄕尋高—(尋)小野〔?〕雄
長谷川スミ (高)綠
喜 根本元二 〔?〕藤彥
草野德三 樋口〔?〕
野ひで 長谷川チヨノ
同第一—野木誠 同第二
—齋藤義紀 堀喜代子
駒木根博 同第三—齋藤
定良 鈴木誠志 高柳喜
代子 渡邊アキ子 川〔?〕
—中村忠雄 桶賣—大川
原〔?〕二 小川—(尋)西山
修〔?〕 草野幸子 (高)白
石政保 赤井第一—(尋)
〔?〕成〔?〕郎 鈴木邦子 (高)
鈴木〔?〕 同第二—(尋)松
崎彥 渡邊起位 (高)草
野タカ子 平窪—(尋)長
瀨安雄 (高)引地千代
豐間—(尋)四家吉之助
大平朝子 (高)鍵谷健三
高久—(尋)野口良光(高)
田仲美宗 夏井—(尋)阿
部薰 (高)坂本喜重 神
谷—(尋)澤田壽一 佐藤
マキ (高)荒川浩一郎
草野—(尋)佐藤信郎 五
十嵐松枝 (高)高田光司
新妻フミ子 大浦—(尋)
根本薰 根本シイノ (高)
若松三郎 根本タミ 大
野尋高—(尋)高木ヨシ子
(高)鯨岡喜代治 吉田キ
クヨ 同第二—井上嚴
四倉—(尋)新妻賢司 白
澤喜代子 古川正 (高)
若松信郎 小田イマ 渡
戶—(尋)草野シメノ(高)
藁谷カネ 永井—(尋)阿
部三代 (高)鈴木澤子
合戶—松崎アイ子 箕輪
第一—高荻タイ 同第二
—遠藤淸美 澤渡—(尋)
佐藤壽市 小室章 (高)
大谷キミ子 差塩—吉田
スヱ 上三坂—石川文子
中三坂—吉田オカヨ 下
三坂—石川エン

3月28日

△金玉均暗殺（明治二七）△抵常法證券法公布（昭和六）△空閑少佐自刄（同七）△東京昌林寺住職鳥栖越山師入寂百十歲（同九）

つゝの日

○

春——は、待つてゐるうちが樂しみで、來たかと思ふとすぐに逝つてしまふものだ。

講談 戸隱奇譚 山の怪秘

(143) 丸山寛雄作 眞木浪齋畫

水上の亂鬪（五）

こゝ、百本杭には、昔からよく川上から流れて來た土左衞門が引つかゝるところである。そのためか、この百本杭あたりの水中には物凄いほど大きな魚がうよ〳〵寄り集つてゐたものだ

今、船頭の淸八がわざと、こゝへ船を入れ樣とするには深い魂膽があつた。この中へ船を入れゝば渡船場の船頭でさへ却々その中の杭の間を拔け出るといふ事は至難な業とされてゐた。淸八はこの中へ羽尾太郎の船を追ひ込んでおいてから、自分だけは水中へ飛込んで泳いで逃げ樣と考へてゐたからである

『だいぶ、杭の澤山に生えた所へ來てしまつたではないか、この中にでも居るといふのか』

羽尾太郎も始めて暗の中に突立つた澤山の杭を見つけて云つた

『昔から、流れ來た土左衞門は大低この百本杭の中へ入ると云ふ話も聞いて居りやす』

太郎は、これを聞くと直ぐ舷に片足かけそのまゝ水面を見詰めた

その時、淸八は羽尾太郎の隙を見て背後から

『ねいッ』

と、一聲、持つた櫂で太郎の腦天目掛けて打ち下した

この瞬間、羽尾太郎、木ッ葉微塵となると思ひきや、素早く体をかはした

『己れッ』

太郎、手練の早業、何時の間に腰の大刀を拔いたか淸八の腰を一文字に斬つてゐた

淸八の身体はもんどり打つて暗の水面へ落ちる

『こんなことだと思つた。この上は杭の中を出て陸へ上るより仕方がない』

太郎は、部下と共に群立した杭を兩手で押除けやうとする、船は幾分でも進むこれを根よく繰返して奥へと船を進ませてゆくうちに葭の密生した中へ出た。もう陸は近くだ

『おゝ親分、どこかで女の聲が聞ゑてゐますよ』

部下は急に船を動かす手を休めた

『おゝ、お豊さんかも知れぬ』

太郎は急に活氣づいて今度は進二無二、霞を摑みながら陸へ上つた

『おゝ、女の聲は彼處だ』

太郎は百本杭よりはるか上手にあたつて悲鳴に似た聲を、はつきり聞いた

『急げ』

太郎は部下にかう云ふと程遠からぬ現場目がけて馳けつけた

お豊を抱ねた船頭は漸く陸へついたが、お豊が逃げやうとしたので

『この恩知らず奴、また逃げる氣か、承知しねえぞ』

船頭は手をあげるといきなりお豊の頰を打つた

お豊は水に濡れた着物や亂れた髮などに凄愴な姿となり乍ら船頭の手から遁れ出やうと焦つてゐた

夜はまだ淺かつたが、もうこの邊の河端は淋しいので犬の子一匹通らない。そこでこんな騷ぎが起つてゐても誰に見つかることもなかつた

そのうち、さすがに男の腕だ。お豊はその千切れた袖の裂れで遂に猿轡をかまされてしまつた

この時、闇の中へ現はれた二つの影、羽尾太郎と部下の者である

ガ車運轉 實現有望

平驛を中心とする

ガソリンカー問題はさきに各關係町村より各驛間一ヶ所宛これが停留場設置方を申請し愈々實現可能と見たので石城町村長會でも目下機會ある每に促進運動を續けてゐるが運轉區間は既報の如く四倉湯本間、平小川鄕間になるらしく停留場一ヶ所の總設備費約二百圓は地元關係町村の寄附にまつものと觀られてゐる、尙運轉時間は常磐線が朝六時から九時迄大体四十分置運賃は一區間五錢を基準としてゐるやうであり乘車賃の低廉や時間の關係等地方通學生等に便利少くないものであると

二十八日（小名濱測候所調査）
日出 五、三一　月出前 〇、五八
日沒 五、五四　月沒前 一〇、三九
滿潮前 七、三五　干潮後 四、四〇
下弦 前五、五一

舊二月二十四日　木曜　新三月二十八日
癸卯　先勝　建　井宿

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 目前の利に迷ふて大計を破らぬ樣にすべし▲二黑の人 行く先に塞がりの生ずる日旅行金談殊に凶▲三碧の人 我より好意を以てせば人皆附隨し來るべし▲四綠の人 志操堅固なれば活氣も從つて生じ來るべし▲五黃の人 出入を正しくし時を計りて動けば過ち少し▲六白の人 平和の中に日立たずとも自然增收あるべし▲七赤の人 進む事七分守る事三分たれば間違なし▲八白の人 疑ひ深きは好機を失する事あり進取が吉▲九紫の人 目上の感情を損じ易し務めて冷靜たるべし

急告

神谷村大字片寄大久保勝男儀昭和九年十二月入店十年三月十一日解雇致候處今以テ當店ノ名儀ヲ騙リ時計、蓄音器等ノ修繕注文ヲ受ケ歩キ各位樣ニ御迷惑ヲ相掛ケ眞ニ申譯無之候、今後ニオイテ一當店ノ預リ證持參ナキ者ニハ注文等一切無之樣爲念謹告申上候

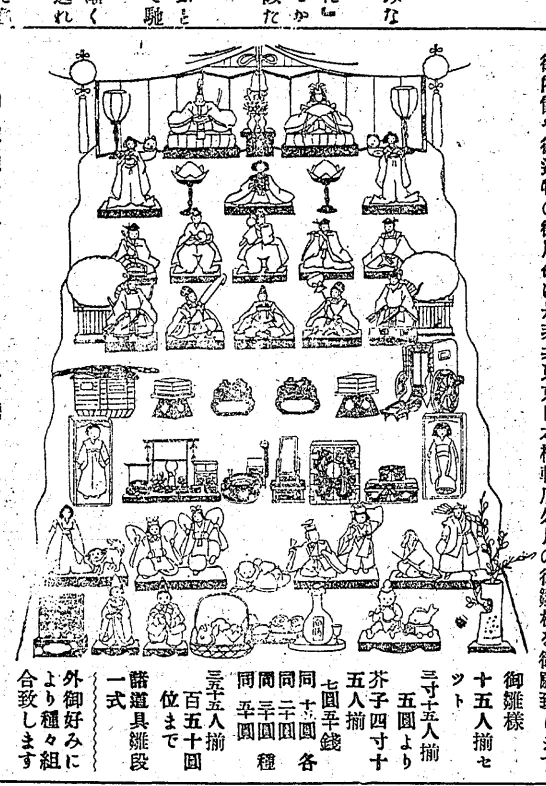
平二丁目
各位樣　高橋時計店

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

廣告

懸賞附賣出し中
丈夫さを誇る
學生帽子 と ランドセル
つねに最も良き品を……
フトン袋特賣
中野洋品店
平・電二五三

御孃樣御待兼の御雛まつりが來ました！
御內飾や御進物の御用命は是非共東京日本橋軒店久月の御雛樣を御願致します



御雛樣
十五人揃セット
三寸十五人揃 五圓より
芥子四寸十五人揃 七圓五十錢
同 十五圓
同 二十圓
同 三十圓 各種
三十五人揃 百五十圓位まで
諸道具雛段一式
外御好みにより種々組合致します

御殿親王付……一圓五十錢より五十圓まで
御進物用浮世物桐箱入二人物……五十錢より十五六圓まで各種

東京日本橋 十軒店 久月本店 出張
平町田町 平マーケット 電話七〇番

成田山大護摩修行團体募集

期日 四月二日（祭日）
午前七時三十二分發（六時半迄平驛集合）
翌日午前成田解散
會費 金八圓也
但 片道汽車賃、車中辨當及茶菓子代、成田宿泊料及茶代諸祝儀、大護摩修行諸費、箱札料、坊入料及席上諸祝儀、宗吾靈堂大護摩修行費
但 成田宗吾間電車賃ハ御自辨ノコト、其ノ他解散迄ノ諸費一切ヲ含ム
申込期間 三月三十一日迄
平町五丁目十一番地
講元 井上貞治郎
電話六六番

特製男女通學服！特價提供……
男子一年生用紺サージ三、九〇ヨリ 綿サージ一、六〇ヨリ 小倉同一、四五ヨリ
女子用サージ三、三〇ヨリ 綿サージ一、六五ヨリ
男女防水萬套一、三〇ヨリ
其他春物各荷豐富取揃

洋服 高島屋
注文並既製品
高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六番

ヒナ人形陳列

ヒナ人形、古代雛御道具等各種陳列致しました。
一人雛箱入 二十錢ヨリ
二人雛箱入 七十錢ヨリ
御殿付親王 八十錢ヨリ
十五人揃小道具雛段は 五圓ヨリ
平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

三月 雛人形大賣出し

本年新型人形
變り人形
おぼこ人形
小道具類一式
各種取揃へ……
十五人揃セット 六圓五十錢ヨリ五十圓迄
一人箱入 三十錢ヨリ
二丁目
フクダヤ祝品部

內科
川井內科診療所
平南町（電二四三）
川井安子

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

涙ぐましい努力を 今日愈々清算に入る
三中等校入學考査 第一日

所詮來では濟まされぬ少年少女惱みの日。平町男女三中等校の試驗地獄の門は遂々今廿七日一齊に開かれ、合格百分比易きも磐中の六六、三難きは平商の四五、八と云ふ試驗苦の渦中に投せられた千九十九名の子女は、高鳴る胸を抑えて過ぐる半歳前から恐怖と不安とを以て胸に描いた試練の前に立つた。今迄學び得た智能を總動員して最後の淸算にいそしむ彼ら子女の、紅潮した將た又極度の緊張に蒼白となつた一人々々の顏色を想ふ時、親として兄弟として蓋し何人か私かに惻々同情の血涙を絞らざるものぞ。艱難汝を玉にす。の古諺もさる事乍ら、人たるべく彼ら年少子女には餘りにも負擔の重い生活過程である

高鳴る胸を抱いて 初日の試驗場へ
附添人控室に漲る憂色

三校とも夫々定刻前長い間骨身を削り合つた擔任教員に引率された受驗生が集合磐中は校庭に於て、磐女、平商は講堂に於て氏名點呼を行ひ、了つて試驗委員から受驗中の注意事項に就て說明あり、九時振鈴其他の合圖に緊張の子女一同は凛然として番號を以て夫々定められた試驗場に吸ひ込まれた後にはわが子女の試驗運如何にと打ち案ずる父兄附添ひの人々で各控所とも之亦異常の緊張味を漂はせてゐた

◇受驗生途上點景 參拜後互に激勵

橋本武夫訓導に引率されて縣社の參拜を了つた第一校四組の受驗生廿數名は平商門前で磐中組と二つに分れる際『しつかりやつて來いよう!』と口々に激勵し合つてたのは、お互長い間の準備仲間として眞にさもあるべき事と一種涙ぐましい光景であつた

滿開季をトして 縣土木建築大會
平町に當業者二百名會合

本縣土木建築請負組合第四回總會は來月十四日の第二日曜をトし午前十時から平署會議室に於て開催、庶務會計報告、役員(會長、副會長。幹事長各一名、支部長十名、幹事三十五名)改選議事後午後二時頃より谷口樓に於て懇親大宴會を催すが二百數十名の會員を有する事とて出席者は來賓を併せ二百名內外であらうと

更生村指定
郡下へ四ヶ村追加

郡下の經濟更生指導は去る七年の泉、錦、入遠野、大浦、の四ヶ村を最初として

再た大野に火事
只一軒燒け殘つた家 原因に不審?の點

今曉三時半頃大野村大字中島長谷川卯之松宅より發火住宅一棟を燒失同四時半鎮火した、同家は去る同部落の大火に燒け殘つた處で原因放火らしく目下四倉署に於て關係者に付き嚴重取調べ中なりと

室違ひから殺人
今曉植田の宿屋で 氣早い七名の亂闘

勿來町大字酒井字堀之內土工荒川又一郎(四五)錦村字中田富岡飯場內埼玉縣入間郡飯能町小岩井生れ土工山川倉藏(三二)同字七一東京市王子區王子町生れ土工富岡正三(三六)同字山口縣厚狹郡小野田町生れ土工鈴木利行(二六)同字茨城縣多賀郡松岡町生れ齊藤義夫(三六)の五名は昨二十六日夜から植田町本町山田屋旅館方で會飲中今朝午前二時頃偶々部屋を誤り入つて來た錦村中田昭和人絹工場內土木請負業倉島保三郎(四二)同木村德吉(三四)と口論の末敵味方入亂れての大亂闘の果て前記五名は兇器を以て倉島の頭部胸部等を突き即死せしめ木村に瀕死の重傷を加へ逃走せんとする所を急行の植田署員に一網逮捕された、平檢事局では急報に接し同日午後白水檢事は桑名書記藤沼警察醫を同伴急行して實地檢證死体解剖等行つた

。。。。。賭博四人男罰金 湯本町

三函毛布行商內田軒治(三九)同町向田古物商岡助一(三四)同高橋富治(三九)同町千葉久藏(六六)の四名は去月六日前後常習的に各所で賭博を開張此程平區より各略式罰金二十圓に處された

弓道師範囑託。。。。。

平町柏原秀藏、大門喜繁、內鄕村猪狩喜平治の三氏は大日本武德會福島支部平分會弓道師範を囑託された

井上氏無罪
けふ控訴院で判決

井上茂作氏は今廿七日宮城控訴院に於て第一審通り無罪の判決言渡しあつた

。。。。。阿部氏御忌參列 大浦村最勝院住職阿部崇順師は來月十三日より三日間大本山增上寺で執行される圓光大師御忌會唱導師として今二十七日平發午前十時四十一分で上京した

農繁保育所資金に 入山で百圓寄附
縣の施設に支援

入山炭礦では縣が凶作地方給食農繁服保育資金として農村に奬勵實施せんとする今回金百圓を寄贈した山田を申請したが年度末も切迫した事とて近く正式指定に接するものと觀られてゐる

江名の傷害致死に 執行猶豫の恩典
被告感泣して引き下る

江名町大字永崎字館布施倉吉方土工東京市城東區龜戸町五丁目生れ鈴木梅吉(三六)に係る傷害致死事件の判決公判は昨二十六日午後一時より平支部で中島裁判長係り、小林、香西兩判事陪席清田檢事關與、眞木(官選)辯護士立會の下に開廷、求刑三年に對し懲役二年、執行猶豫三年間の同情ある言渡しあり被告は感泣して引き下つた

慘たり烈風の被害
其後平署に報告到著の分

昨二十六日平署に報告された烈風被害其後の分左の如し△湯本町字傾城一四竹澤勘四郎方屋根約十坪吹き飛ばされ損害三百圓△同町大字水野谷地內二本松電氣所屬電柱四本倒壞△小川鄕驛信號所小屋倒壞 損害約二百圓△赤井村福島炭礦坑夫長屋一棟十戸倒壞、並同長屋中屋根吹き飛ばされ四棟十二戸△磐崎村大字西鄕磯上義次方一棟倒壞、同村字下船尾同湯長谷地內電柱各一本倒壞

飛ばされた屋根材 警察電話線を切る
發見の電工奉仕的に修理

別項吹き飛ばされた湯本町字傾城一四竹澤勘四郎方の屋根材が附近の警察電話線を二ヶ所を切斷したのを同町三函東部電力會社電工村上敬介、遠藤仙吉兩君が發見「警察間の連絡を斷つてはならぬ」と烈風中約一時間半に亘りこれが修繕に當り駐在巡査や附近民から其の善行を褒められた

磐中試驗問題 第一日

(1) 次の式を計算せよ

(イ) 1325+657+10939+589+48531+66770

(ロ) 5ヵ3分ノ1×2ヵ4分ノ1÷7分ノ5

(2) (イ)次の式を計算せよ {12−(4,5+8,25)×0,7}÷5

(ロ) 次の各の分數を通分せよ 8分ノ3・6分ノ5・12分ノ7

(3) (イ)大正三年は神武天皇卽位紀元何年であるか

(ロ) 周圍が256米の土地がある。此の土地の周に8米毎に櫻を植ゑると櫻が幾本いるか

(4) 買價の2割の利益を見積つて定價を1圓90錢で賣附けた品を1圓40錢と賣つた。幾割の益か又は損か

(5) 或桶に水を滿たすに大管を用ひると12分かゝり小管を用ひると15分かゝる。大管4本と小管5本を同時に用ひると何分何秒かゝるか

一、左の文を讀んで次の問に答へなさい

先づ社の組織について述べん。これも社によりて多少の相違はあれども、多くは總務局ありて全體を統べ、編輯、營業の二局ありて、編輯に關することは前者之を司どり、販賣、廣告に關することは後者之を擔當す

傍に線を引いた語は何をさしますか

二、左の文の片假名を漢字で書きなさい

地ヅの中のウスミドリにソめてあるのが一昨年ウエ付けた處、シユセンでカコんであるのが今年バツサイする處、それから次々といろいろの印がついてゐる

三、左の文を解釋しなさい

(一) ゐろりの火は次第におとろへ行きて、ひきもゐる夜風はだへをさすが如し

(二) うねうねと續く岡が雨に煙つてぼんやりと遠く見ゆる

(三) 兄はむつつりとしてやゝ當惑の體である

四、左の語を用ひて短文を一つゞつ作りなさい

(一)强ひて (二)むしろ (三)氣をもんだ (四)出沒する (五)複雜

平商入學試驗問題 第一日

一、次の文をよみ左の問に答へなさい

「正一も大分役に立つやうになつたなあ」あみ笠をかぶつた父がふり向くと、母もすげ笠をそちらへ向けて「ほんたうにさうですね。おかげで今日中には大がいかたづきます」と言ひながら、正一を見てにつこりした。仕事は水入らずの三人の手で、ずん/\はかどつて行く。何所からかにぎやかな歌が聞えて來る

問 一、「そちらへ」とは誰の方へか 二、「につこりした」のは誰か 三、「三人で」とは誰々か 四、「水入らず」とはどんな意味か

二、次の句のワケをかきなさい

手にとるやうに見える= 夜を日について働いた= ひまもる夜風はだへをさすが如し= 路頭に迷ふ= 昔をしのぶ= 困難をしのぶ=

三、次の熟語にカナとワケをかきなさい

交易= 店頭= 原料= 對坐= 臨御=

四、左の(一)の語の中から(二)の語と一番よく意味の似よつたものをえらびなさい

(一) 消息。つゝがなく。ぬかづく。

(二) 無事に。なげくこと。おじぎをする。たより。

五、次の語のつく熟語を一つゞつ示しなさい

共… 義… 供… 儀…

六、次の語を用ひて短文をつくりなさい

かびがひじく= 汗のたまもの=

七、次の文のカタカナの所にカンジをあてなさい

(一) 店はだんだんハンジヤウして、十年もたゝぬ中に、町でもクツシのザイサン家となつた

(二) 成功するにはネツシンとドリョクがヒツエウだ

(1) 0,8Mの價が18錢の木綿は1Mの價は幾らですか

(2) 4平方メートルと4M平方とはどちらが大きいか又小さい方の何倍か

(3) 銘筆1ダースの仕入値段(原價)は30錢である。これを1本3錢の割に賣れば利益の歩合は何程ですか

(4) (3ヵ6分ノ5−2,4+1ヵ15分ノ7)÷1ヵ15分ノ14を計算せよ

(5) 雇人の賃錢が男4人分と女7人分と等しい時、女1人分が76錢であると男1人分は幾らですか

(6) 子供メリヤス(シャツ、モ・ヒキ)上、下七組の代金10圓01錢で上は下よりも1枚につき13錢高い上下各1枚の代金はいくらですか

(7) 昭和十年三月二十一日午後10時18分が春分で六月二十二日午後5時38分が夏至であります、春分から夏至までは何時間分かで

高女試驗問題 ……(第一日)……

(1) (3分ノ1+7分ノ1+2分ノ1)×4分ノ3を計算せよ

(2) 6,44321÷3075 を小數第五位迄計算し割り切れざるときはその餘りを記せ

(3) 今から今日の正午までの時間は午前6時から今までの1ヵ2分ノ1である今の時刻は何時か

(4) 1から20 までの數の中で2と3の公倍數は何何か

(5) 圖のやうな形を厚紙で作り折合はせて出來る直方體につき全表面積を計算せよ (略)

(6) 梃子がある支點から一方27糎の所に1,4瓩の物をかけた支點から他の方35糎の所に何瓩の物をかけると梃子は釣合ふか

(7) 林檎が94ある、之を甲乙丙3人に分けるに甲の取分と乙の取分の比は4:3で乙の取分と丙の取分の比は5:4になるやうにするには各幾つ取ればよいか

(8) 元高が30瓩で歩合が2,4%であると合計高は何程であるか又差引高は何程であるか

一、次の短文をそれ/\解釋しなさい

イ、これぞ武門の面目

ロ、大衆の面目をうかゞふを得べし

ハ、我もとよりいなみ奉る心なし

二、次の語によみがなをつけなさい

喜捨。無愛想。燃料。修行。規模。家畜。不意。早速。體裁。珍重。

三、次の語を用ひて各々一つづつの短文を作りなさい

イ、とにかく ロ、鮮か ハ、あつぱれ ニ、萬一

四、次の文中の片かなの下に適當な漢字を書入れなさい

イ、市町村長や議員をセンキヨするにはモツパら其の人物に重きをおいて決してシンゾク、エンコ其の他、私交上のクワンケイの爲に心を迷はすやうなことがあつてはならない

ロ、グレースのマゴコロこめたカンゴによつて全く元氣をクワイフクした人々は、親子にあつく再生の恩をシヤしナゴリを惜しんで此の島を去つた

一、猪苗代湖の水は何に利用されてゐるか、說明なさい

二、滿洲で農業の適するわけを述べ、主な農産物をあげなさい

三、聖德太子の御事績(なさつたこと)を書きなさい

四、ポーツマス條約について書きなさい

松崎松治氏夫人

福島市榮町福島モーター商會專務取締役松崎松治氏夫人ツネ子さんは永々病氣の爲福島公立病院に入院し最近は市內陣場町の自宅で療養中の處發生相叶はず二十五日午後六時嗣子廣島稅務監督局總務部長松崎憲司氏はじめ令嬢令孫近親の人々に見まもられ遂に永眠した享年六十四、內助の功厚かつた人で哀悼されてゐる二十六日夜福島に於て茶毘に附し三十日午後二時より鄉里平窪村大字中平窪字桂進の自邸で佛式により告別式を執行する尚は遺骨は今二十七日午前二時五十分平驛着で本邸に歸つた

雛人形特價賣出し

桃の節句が近づきました。東京一流のデパート陳列の最新形**木目込人形**各種取揃ました。どうぞ御覽下さい、他店に類の無い**お伽噺**の最新人形も澤山陳列致して客樣をお待ちして居ります。

平町四丁目角 **菅野屋商店** 電話一五七番

三月雛人形大賣出し

御殿並御道具類一式 最新古代人形並十五人揃 其他人形類各種

例年之通リ山ノ如ク陳列致シマシタ!。當店ハ御得意本位主義ノ基ニ特賣ニ努メマス。御早ク御來店ヲ御待チシマス。

平町三丁目本通 落花生問屋 **叶 加藤商店**

特製ヒナ人形ヒナ道具賣出し

例年の通り古代風變り人形やヒナ道具類を陳列致しました。ぜひ御覽下さいお待ちいたして居ります。

一人ヒナ箱入 三十錢ヨリ
二人ヒナ箱入 五十錢ヨリ
御殿付親王 壹圓ヨリ
外十五人揃人形各種

平三町目 **金太郎玩具店**

本社專務取締役松崎松治氏夫人ツネ子殿豫而病氣の處養生不相叶本日午後六時死去致候間此段御通知申上候

追而來る三十日午後二時より石城郡平窪村大字中平窪字桂進の自宅に於て告別式執行仕り候

昭和十年三月二十五日

福島市榮町三十五番地

株式會社 **福島モーター商會**